

大阿蘇病院が担う役割について

令和 5年 8月 大阿蘇病院

【自施設の現状と課題】

＜大徳会理念＞

「一隅を照らす」

私たちは、人々に灯火と明りと輝きをもたらします。

基本方針

1. 患者様の人権を尊重し、地域の皆様に安心して信頼される病院・施設を目指します。
2. 日々の研修・研鑽に励み、知識と技術の習得に努め、予防から治療、社会復帰、在宅支援まで質の高い医療・介護サービスを提供します。
3. 地域の中核となり行政機関や病・医院と連携し、地域の皆様の健康と豊かな生活の増進に貢献します。

【自施設の現状と課題】

現状

- ・ 診療科目 内科、整形外科、リウマチ科、胃腸科、循環器内科、リハビリテーション科
- ・ 入院・入所施設 医療療養型病床、介護医療院
- ・ (阿蘇市内)
居宅介護支援センター、通所リハビリセンター、
小規模多機能事業所ひだまりの里、グループホームさくら苑、
認知症対応型通所介護にこにこデイサービス、
住宅型有料老人ホーム満寿苑
(阿蘇市外)
介護老人保健施設リハセンターひばり、
地域密着型特定施設入居者生活介護リハセンターみどりの里、
サービス付き高齢者向け住宅朝日が丘

【自施設の現状と課題】

課題

- ・ 地域人口の減少。
- ・ 慢性的な人的資源の不足、特に看護師・介護士の不足及び職員の高齢化。
- ・ 地域の高齢化率の上昇に伴い、平均入院患者の年齢の上昇や、転倒・骨折入院患者の回復までに時間を要するようになり、改善後の受け入れ先が難しくなっていること。

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

- ・外来患者においては(亜)急性期から慢性期までの医療を提供。
- ・他施設からの紹介では、リハビリを含む慢性期機能の充実。
他の医療機関、介護関連施設との連携業務の充実。
- ・認知症対策。
- ・健診業務の充実。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(令和5年)	2025年
高度急性期			
急性期			
回復期			
慢性期	154床	97床	97床
その他		52床(介護医療院)	52床(介護医療院)
合計	154床	149床	149床

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【 ① 4 機能ごとの病床のあり方 その2 】

- ・地域包括ケア病棟の検討
- ・介護医療院の充実

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (R5年8月時点)	2025年	理由・方策
維持	○	○	
新設		地域ニーズの必要性に 応じて検討	
廃止			
変更・統合			

3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(R5年7月時点)	2025年
①病床稼働率	96.3%	96~98%
②紹介率	13.3%	20.0%
③逆紹介率	22.5%	35.0%

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

- ・病診連携の充実

4 その他特記事項

【その他】

- ・介護医療院に関する資料提供